

高町なのは（たかまち・）



優しく面倒見が良く、上司からは信頼され、同僚や後輩からは慕われる性格。幼馴染の八神はやてが立ち上げた新部隊に戦技教官として招かれ、新たな出会いと戦いの日々に向き合っていく。六課メンバーからは厳しくも優しい教官として慕われることになる。

フェイト・T・ハラウン



19歳。なのはとは幼馴染の親友で管理局の同期。はやてには法務担当および広域捜査主任として機動六課に招かれた。執務官として次元世界を回り、ロストログアやその違法研究の捜査を行っていた経験を生かし、機動六課でも事件の捜査を取り仕切る。一流な仕事ぶりや強力な魔法に似合わず日常では優しくおだやかで、親友や年下に対しては少々過保護気味に面倒を見たい性格。

八神はやて（やがみ・）



19歳。なのは、フェイトとは幼馴染で親友で管理局の同期。s t sの主な部隊となる機動六課を設立した本人。魔導師ランクはなのは、フェイトをも上回るSSランクを誇るが、「能力限定」によって4ランクダウンであるAクラスにまで力を制限している。かなりの「おっぱいマニア」であり、親しい女性の胸をもみまくっている。

ヴィータ



主であるはやてが設立し、率いる「機動六課」で「スターズ分隊」副隊長を務める。戦闘教官資格を取得していて、なのはと共に新人の教育を担当する。新人たちに対して厳しい態度を取ることも多いが、面倒見の良い性格。なのはが11歳の時に大怪我をした際その現場に居合わせていて、8年経った今でもそのことを引きずっている。同じ部隊になったなのはを守ると誓っている。

シグナム



主であるはやてが設立し、率いる「機動六課」で「ライトニング分隊」副隊長と交替部隊の隊長を務める。階級は二等空尉。当初、新人の訓練に参加しなかった理由は「人に物を教える柄ではない」という理由から。また、交替部隊のトップでもあるためになかなか面倒をみられないという理由もある。機動六課の隊長・副隊長クラスは全員「能力限定」の魔力リミッターがかかっており、彼女とヴィータも魔力ランクが抑えられている。それを解除出来るのは部隊長のはやてのみだが、滅多な事では解除を承認出来ない。しかし魔力リミッターがかかっている状態でも、かなりの戦闘力を誇る。魔法術式・古代バルカ式/魔導師ランク・空戦S-。第21話でゼストと対峙する時にリインフォースIIとユニゾンした。融合時は騎士服が紫基調に、瞳が青、髪も薄いピンクとなっている。この時はゼストに一時的に退けられるも、第25話で再び対峙した際にはゼストを撃破する。

この時に、ゼストから戦闘機人事件に関わるデータの入ったデバイスとアギトを託される。

シャマル



ザフィーラ



リインフォースII



スバル・ナカジマ



15歳。s t sの主要格の一人。正体は戦闘機人「タイプゼロ・セカンド」。
機動六課ではスターズ分隊のフロントアタッカーを務める。
4年前に起こった空港火災に巻き込まれており、その際になのはに助けられ、彼女に憧れを抱く。
普段は能天気で前向きな性格だが、意外と内気で弱気な面もある。
一度やると決めたことは最後まで貫き通す意志の強い人物でもある。

ティアナ・ランスター



16歳。愛称はティア。唯一の肉親だった兄とは死別している。
機動六課ではスターズ分隊の「センターガード」を勤める。
訓練校時代、スバルと初めてであった頃は冷たい態度をとっていたが、そのうち親友と呼べるまで仲良くなる。
六課に配属された当初は周囲の才能への劣等感や兄への想い、日々の訓練で自分が強くなっている実感が湧いて来ない焦燥感から訓練などで無茶を続けた結果、なのはに叩きのめされてしまったが、なのはの思いを知り号泣しながら和解する。

キャロ・ル・ルシエ



エリオ・モンディアル



ルーテシア



ヴィヴィオ



ギンガ・ナカジマ



カリム・グラシア



アギト



クアットロ



セイン



ウーノ



シャツハ・ヌエラ



ドゥーエ



トーレ



チンク



セツテ



オットー



ノーヴェ



ディエチ



ウェンディ



ディード



ガジェットドローン型



フリードリヒ



ジェイル・スカリエッティ



シャリオ・フィニーノ



ヴァイス・グランセニック



ガリユー



アルト・クラエッタ



ルキノ・リリエ



グリフィス・ロウラン



クロノ・ハラオウン



マリエル・アテンザ



ヴェロッサ・アコース



ユーノ・スクライア



オーリス・ゲイズ



ゲンヤ・ナカジマ

